

様式 3

令和 4 年度 第 1 回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立白兔養護学校

学校長 中西 美千代

評 価 日	令和 4 年 6 月 2 7 日 (月)
評 価 ・ 提 言	学校の所見 ・ 改善策
1 目標設定について ○今年度の学校運営等 (1) 学校経営方針について (2) 学校裁量予算及び特色ある学校づくりについて (3) 学校自己評価について 2 評価項目と目標達成のための取組について (1) 学校経営方針について ・ 生きることの大切さが知れる良い方針。 (2) 学校裁量予算及び特色ある学校づくりについて ・ 地域とつながりを持つ良い活動がされている。 (3) 学校自己評価について ・ チームで取り組む支援が高評価なのは良い。 3 具体目標について ・ 一人一人が役立つことができる社会参加に向け、一人一人の経験ができているかを見ていくことが大切。 4 目標達成のための具体方策について ・ 障がい者の地域理解が進むことを期待。 ・ 感染予防対策を踏まえ、地域との連携や交流を増やしていく。 ・ 進路につながるような実習や体験ができること。	⇒学校教育目標と基本方針、重点目標、概要を説明。 ⇒地域社会とのつながりの実施計画を説明。 ⇒重点目標(評価項目)ごとの現状と達成方策説明。 ⇒一人一人の自立と社会参加に向けて、学校生活での経験や地域につながる活動を基盤に取り組む。 ⇒前年度学校自己評価の課題(C)を元に取組内容を明確化。 ⇒地域とのつながり、ICT の活用、センター的機能、安心安全な学校生活を送ることなどが主な重点。 ⇒地域との協働の推進においては、委員の皆様やまちづくり協議会等の地域の方からの力添えをいただきたい。

・コロナ禍でも安全を考慮し実施できる形を模索。 ・全ての子どもたちが地域の方との関わりが持てるようできるだけ工夫してほしい。 ・ICTに関わり携帯電話等のマナーや使用に関わる取り組みが大切。 ・個々の実態に合った教育を推進するためにもICTの活用を。 ・交流は一度途切れると次年度つながりにくい。公民館、区長、地域の高齢者の活用を。 ・記録等の書き方の研修も必要。切れ目のない支援の中で重要。 ・学校と地域が近い存在だと感じる。白兎よろずやの取組は楽しみにしておられる方もいる。ミニギャラリーなど地域の中での認知もあがっている。 ・個別の支援計画の作成会議で教育、福祉、療育、保護者がつながる取組は、大変ありがたい。 ・重複障がいの子は地域に出るのも難しい。人との関わり、地域とのつながりが保護者にも見える形になるように。 ・社会に出てからも人とのつながりが必ずあり、子ども同士のつながりも作り、自分の力を高めてほしい。 ・若桜街道の花壇の管理では白兎養護の卒業生も一役を担っている。社会の一員であると感じられるよう活動している。 ・地域共生社会に向けてはさりげなく発信していくことを。 5 その他 ・令和5年度教科用図書について	⇒感染症対策をしながら、できることを確実に取り組む。 ⇒保護者生徒への研修、高等部では教育課程に位置づけて実施。 ⇒年間計画をもとに各学部取り組みを確認。 ⇒多数の提言や感想をふまえ、活動を工夫していく。 ⇒選定について説明
--	---